

三重大学的

忍者の携帯食をお菓子として商品開発
 ウニの除去活動による藻場再生
 古文書群の調査・研究
 「音」と「意味」を考える教養教育公開講座
 地域リーダーの育成をテーマとした交流会・ワークショップ
 SDGs研究会の開催
 自然災害発生メカニズム解明と防災・減災対策の調査・研究
 ICTを活用した林業活性化のセミナー
 耕作放棄地再生
 伊賀の森林・里山の整備
 インバウンド増加を目指した観光商品開発
 アワビをはじめとする磯根資源の増養殖に関する研究
 三重の文化と社会をテーマとした地域研究フォーラム
 子もたちに科学の楽しさを伝える「子ども大学」開催
 柑橘・魚介など地域に根ざした伝統的食文化を通じた地域振興
 中世城館の研究者
 三重創生ファンタジスタの養成
 海女の歴史文化関係アーカイブの構築
 データベース構築



地域創生。

星空をキーワードにした地域活性化プロジェクト
 忍術学講座開催
 工学研究の最前線
 小・中学生を対象としたジュニアドクター育成塾
 国際忍者学会
 シーカヤック・トレッキング
 などを活用した自然環境リテラシー学モデル実習
 バイオマスエネルギー
 地域内循環利用によるまちづくり
 放流アユの季節変動調査プロジェクト
 小・中学生向け林業を身近に感じてもらう「木育」プロジェクト
 早期診断患者との連携の試み

地域拠点サテライト

- ◆北勢サテライト
 - ・知的イノベーション研究センター
〒510-0074 四日市市鶉の森1-4-28 ユマニテクプラザ 1階
- ◆伊賀サテライト
 - ・伊賀研究拠点
〒518-0131 伊賀市ゆめが丘1-3-3 産学官連携地域産業創造センター ゆめテクノ伊賀内
 - ・伊賀連携フィールド・国際忍者研究センター
〒518-0873 伊賀市上野丸之内500 ハイトピア伊賀 2階
- ◆伊勢志摩サテライト
 - ・海女研究センター
〒517-0025 鳥羽市浦村町大吉1731-68 海の博物館内
- ◆東紀州サテライト
 - ・東紀州教育学舎
〒519-4394 熊野市木本町1101-4 三重県立木本高等学校 旧寄宿舎(南風寮)
 - ・東紀州産業振興学舎
〒519-3602 尾鷲市天満浦161番地 東紀州産業振興学舎 天満荘

三重大学地域創生推進チーム
 〒514-8507 津市栗真町屋町1577
 TEL 059-231-6271
 E-mail regional-t@ab.mie-u.ac.jp
 http://www.rscn.mie-u.ac.jp/



AIや自動運転をテーマとした一般向けの講演会
 リハビリロボット・電動車いす
 健康福祉システム開発研究会
 高過中山中小企業の高関餌ア真珠生産用の
 齢速山間地事業計画策定能力向上高大連携す料コヤガイの
 化地地能をる公開ゼ
 小学校郷土教育教材の開発 Society 5.0 へ向けた 物流IoT研究会
 シェアリングエコノミー活用推進事業
 交通弱者のライドシェア
 LED植物工場の開発および研究・商用普及支援

複式学級に対応した小学校英語の年間学習指導計画作成
 忍びの里伊賀創生プロジェクト推進

三重大学

地域拠点

サテライトとは？

概要

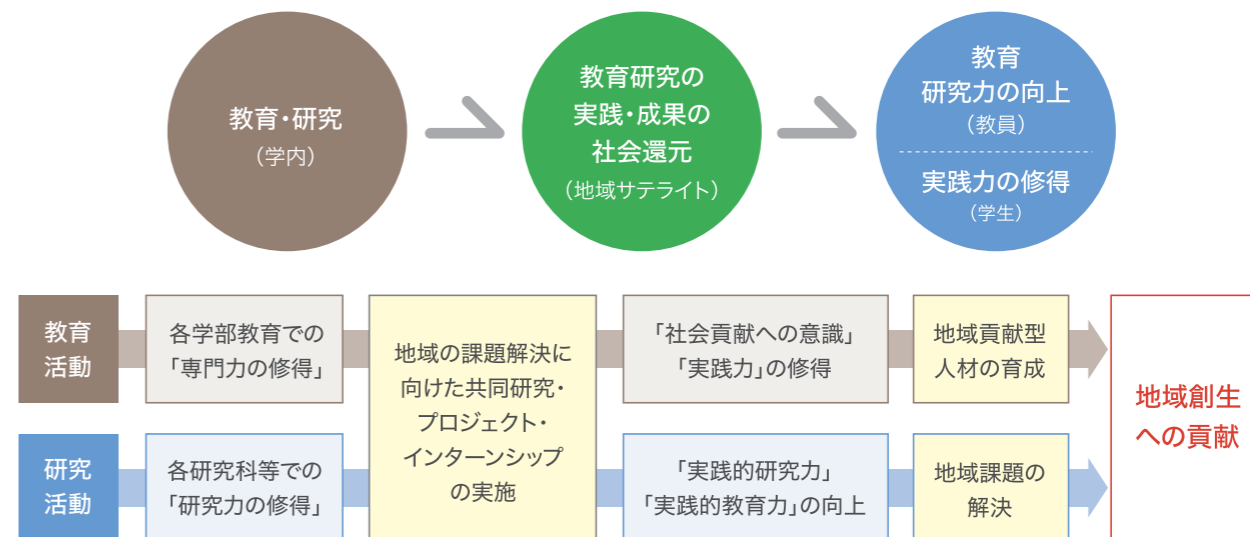
三重大学では地域創生への取り組みの一つとして、平成28年度から「地域拠点サテライト」による活動をスタートさせました。「地域拠点サテライト」では、県内全域を教育研究フィールドと位置付け、地元企業や自治体と大学を繋ぐハブ機能として、多様な地域特性を有する4つの地域サテライト（北勢サテライト、伊賀サテライト、伊勢志摩サテライト、東紀州サテライト）を展開しています。

また、各地域サテライトには、自治体や教育機関等との連携・協力のもと、特色豊かな活動拠点を設置しています。

これら4つの地域サテライトと活動拠点が、大学近隣にとどまらない県内全域での活動を推進するとともに、教員や学生がフィールドワーク等の実践的な教育研究活動を展開するほか、企業や自治体との共同研究・共同プロジェクトを通じた地域の課題解決等に全学的に取り組みながら、大学の教育研究力の向上に加え、地域創生や地域の人材育成に貢献しています。

目的

教育研究機能の強化を通じた地域創生への貢献



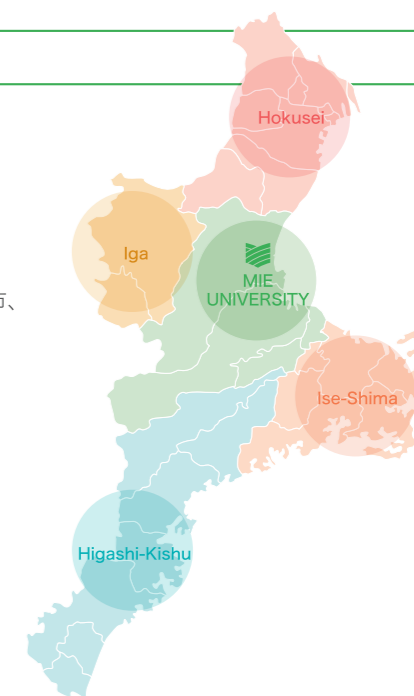
4つの地域サテライト

地域の課題・特性に応じた

社会還元・実践的な教育研究力向上の場

- 北勢サテライト** 〈担当エリア〉 四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町
- 伊賀サテライト** 〈担当エリア〉 名張市、伊賀市
- 伊勢志摩サテライト** 〈担当エリア〉 伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、南伊勢町
- 東紀州サテライト** 〈担当エリア〉 尾鷲市、熊野市、大台町、大紀町、紀北町、御浜町、紀宝町

※津市、松阪市、多気町、明和町は大学本部が担当



平成30年度開設

北勢 サテライト

Hokusei Regional Satellite

知的イノベーション
研究センター

日本のモノづくりの真髄を体感し
富を生み出す拠点。

担当エリア

四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、
木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町

活動内容

自動車、石油化学、食品化学企業との産学連携事業、
企業人材のリカレント教育、モノづくり企業との
連携による学生・若手教員の育成等

活動拠点・概要

○ 知的イノベーション研究センター

産学官連携を通じたSociety5.0・SDGsの実現を目指す地域産業の成長に寄
与するため、多面的な視点から課題を発見し、異分野融合により解決方法を見
だし、成果の社会実装を推進します。



知的イノベーション研究センター(ユマニテックプラザ内)



大学院工学研究科公開セミナー ～みんな見せます工学研究科～

大学の活動について、地域の方々に少しでも理解を深めて頂くために、「みんな見せます」
をテーマとした工学研究科の全活動を紹介する初めてのイベントとして開催しています。こ
の企画により、大学での研究成果の地域還元を促進し、共同研究・インターンシップ・人材
育成へと発展させ、三重県の地域創生へと繋がります。令和元年度は専攻ごとに全5回開催
し、県内企業・自治体関係者を中心に、延べ349名が参加しました。

北勢サテライト主催の講習会「イーブニング・アカデミア」

日中は仕事をしている社会人向けのリカレント教育を目的とした講習会です。令和元年度は北勢
サテライト長が講師を務め、「仕事に役立つデータサイエンスとは何か？ー統計学の基礎から
EXCELで学習し、変量の予測値を求めるー」と題したデータサイエンス(統計解析)の入門講習を
実施しました。データサイエンスを理解するための基礎となる統計学を、コンピュータを活用した
演習とグループ学習により体験的に学習し、Society5.0、SDGsを推進する人材を育成します。



SDGs研究会

2015年国連サミットで採択された「国連持続可能
な開発目標(SDGs)」について地域の自治体や企
業、本学学生・教職員が学び、実行するためのプラッ
トフォームとなる取り組みです。地域と国際の両面
を視野に入れた政策提案と人材育成を目指します。



教養教育公開講座 in 四日市

「音を診るー騒音の計測と評価ー」「意味を読
むーコミュニケーションはどのように成り立つ
のかー」をテーマに、クイズやゲームなどを取
り入れた講演を行い、25名が参加しました。



健康福祉システム開発研究会

今後益々進む超高齢社会で、高齢者が肉
体的にも精神的にも健康に生活できるよう支
援するシステムの実現を目指し、課題抽出
から社会実装まで、企業や自治体との産学
官連携による研究開発を行います。



三重大学と地元企業との連携セミナー

「三重大学大学院生物資源学研究所にお
けるフードシステム研究」と題し、教員によ
る共同研究の対象や実績、新たなビジネ
スの種となる研究内容を紹介しました。



地域研究フォーラム in 四日市

大学院人文社会科学部研究科の講義科目
「三重の文化と社会I・II」にて、北勢地域を
フィールドとした研究を実施しました。最終
報告として市民や関係者を対象に現地発
表会を行いました。



SDGsに関する講演・分科会

IATSSフォーラム(国際交通安全学会)との
共催で、東南アジアからの研修生と本学学
生・留学生の総勢40名が参加し、SDGsの
達成に向けた議論を行いました。

平成28年度開設

伊賀 サテライト

Iga Regional Satellite

固有文化と地域資源の活用で 地域再生に寄与する拠点。

担当エリア

名張市、伊賀市

活動内容

忍者等の歴史・文化、医薬品企業との連携、森林資源の活用等

活動拠点・概要

○ 伊賀研究拠点

伊賀地域の企業の高度化や新産業の創出に向けて地域特性を活かした産学官連携に取り組むとともに、地域活性化に寄与するため、文化的啓発活動に取り組みます。

○ 伊賀連携フィールド・国際忍者研究センター

地域振興上の諸課題等に適切に対応することにより、伊賀地域の充実・発展に寄与します。国際忍者研究センターでは、忍者に関する教育・文化振興・研究の推進を図るとともに、国際的な忍者研究を推進し、その成果を広く国内外に発信します。

伊賀連携フィールド・
国際忍者研究センター
○ 伊賀研究拠点



伊賀研究拠点(ゆめテクノ伊賀内)



伊賀連携フィールド・国際忍者研究センター
(ハイトピア伊賀内)

活動紹介

学際的・国際的忍者研究の展開

国際忍者研究センターでは、史料等の調査研究のほか、忍術書の内容を科学的に検証するなど、文系理系の各専門分野の教員が協力して研究活動を進めています。平成30年2月には、国際的な情報の集約と発信による研究の発展を目的に国際忍者学会を設立し、国内外の研究者による議論も活発に行われています。忍者文化は世界的にも関心が高く、海外での講演会も実施しています。



全国忍者調査プロジェクト(略称「忍プロ」)

平成30年8月から、全国の教育委員会・博物館・文書館等900ヶ所に調査票を送付し、全国に点在する忍者学関係史料の調査・収集を行うプロジェクトを進めています。収集した情報はデータベース化を行い、一般公開も予定しています。この取り組みにより、今後のさらなる研究の発展が期待できます。



兵糧丸風かたやき小焼き開発

「忍者の知恵を活かした携帯食に関する研究」をテーマに名張市の洋菓子店「モンパクトル」と共同研究を行い、三重大学産学連携認定商品として販売を開始しました。



忍者・忍術学講座

学内外の忍者に関する研究者を講師とした市民講座「忍者・忍術学講座」を毎月1回開催しています。令和元年度は延べ1,151名が参加しました。



伊賀の森林・里山研究会

雑木や侵入竹を伐採除去し、里山の景観を良くすることを目的として伊賀市内で里山整備を行っています。整備した跡地には苗木を植樹し、環境保護活動を進めています。



産学官連携セミナー in 伊賀

地域の進展に向けて産学官連携の在り方を考える機会として、毎年テーマを変えて開催しています。令和元年度は127名が参加しました。



健康科学食品研究会

食の機能性と健康の観点から、専門家による話題提供を基にした意見交換を行っています。これにより、伊賀地域の企業と連携し、地域産業の支援を進めています。



「こども大学」開催

子供たちに科学の楽しさを伝え興味を持ってもらうことで、将来地域に貢献できる人材の育成を目指して毎年開催する取り組みです。本学学生・教職員、自治体職員が講師として参加しています。

平成29年度開設

伊勢志摩 サテライト

Ise-Shima Regional Satellite

歴史ある自然との共生・共存の 思想を世界に発信する拠点。

担当エリア

伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、
度会町、南伊勢町

活動内容

食と観光産業による地域創生の研究(歴史文化の交流、海女文化、
水産資源の活性化、食品の6次産業化、観光資源の活用など)、
地域人材の育成等

活動拠点・概要

○ 海女研究センター

「海女」を切り口とした、教育研究・人材育成・情報発信等を展開する地域連携の
拠点として、専門知識・技術(スキル・ノウハウ)・人材の提供を通じて、地域との
協働を基に地域の課題解決を支援します。

海女研究センター



海女研究センター(鳥羽市立海の博物館内)

活動紹介

伊勢志摩サテライト交流会



伊勢志摩サテライト関係自治体(全6市町)と本学教職員が参加し、全員で伊勢志摩の地域
創生を考えるフラットな勉強会です。テーマに即した教員による知見の提供をもとに意見交
換・情報共有を行い、課題解決や地域創生の糸口を探ります。平成30年度からこれまでに全
11回延べ271名が参加し、大学をハブとして市町間の横の繋がりも強まり、組織の枠を超え
た新たな地域共創の動きも生まれています。

海女の歴史・文化関係アーカイブのデータベース構築

海女に関する画像・映像、古文書、民俗資料などの文化的価値の高い海女関係資料をデジタル化して文化
財の保護に寄与するとともに、データベース化を進めることで海女研究の基礎的な資産を構築する取り組み
です。これまでに書籍720件、論文524件の書誌データと、約2万3千件の画像データのデジタル化を行
いました。これらは基礎研究・応用研究の進展に用いるだけでなく、情報発信や展示会・映写会等に活用し、海
女文化の理解と地域振興に貢献します。



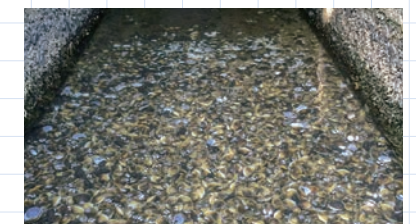
海女漁村の空間(景観)構造調査研究

海女漁村の文化的景観の保全活用として、海
女文化を体験できるモデル地区整備に向け
た景観計画を自治体と協働して策定し、県内
初となる国の重要文化的景観選定を目指し
ます。



若者の観光を促進する参加型 観光商品開発に向けた基礎的研究

伊勢志摩地域における若者の観光需要を喚
起させる参加型観光商品開発を目指して、学
生参画のもと伊勢志摩圏の文化や産業に関
する調査、フィールドワークを実施しています。



宮川用水パイプライン内タイワンシジミ 詰まり問題の調査研究

海外でも抜本的な解決策が確立されていな
いタイワンシジミの被害抑制に向け、自治体
や地域関係者との協働により、国内初の事例
への先駆的研究を進めています。



南伊勢町まちづくりリーダー交流会

本学教員がコーディネーターとして参画する
南伊勢町の地域リーダー養成を目的とした
定期的な交流会です。地域の若手人材や高
校生・教員等を対象に地域の将来を牽引する
人材養成を推進しています。



学生を主体とした地域連携活動

地域での学生活動を支援する取り組みです。
平成30年度は医学部生を中心とした学生団
体による、志摩市の海水浴場での応急救護
活動を支援し、救急車の適正利用と利用者
の満足度向上に寄与しました。



イタリア食科学大学との 合同フィールドスタディ

連携協定を結ぶイタリア食科学大学の学生を
迎え、伊勢志摩の食文化を中心とした三重県
の食資源と文化特性の理解と国際認知度向上に
向けた合同フィールドスタディを実施しました。

平成28年度開設

東紀州 サテライト

Higashi-Kishu Regional Satellite

地域資源で富を生み

力強い子供が育つことを支える拠点。

担当エリア

尾鷲市、熊野市、大台町、大紀町、紀北町、御浜町、紀宝町

活動内容

地域に根ざした教育、水産増養殖・加工業との連携、森林資源や観光資源の活用等

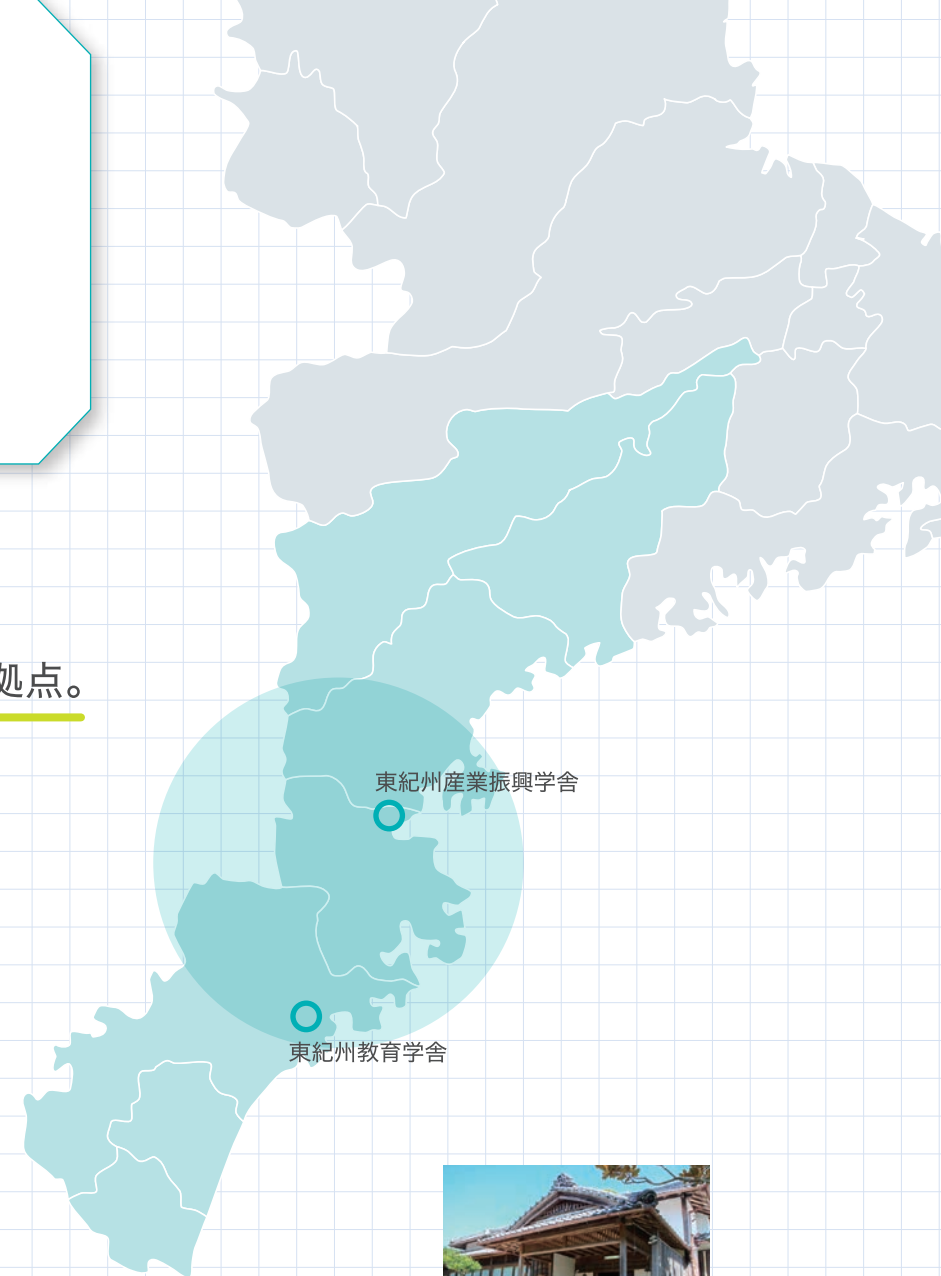
活動拠点・概要

東紀州産業振興学舎

地域産業振興や地域雇用の拡大に向けて、地場産業である柑橘農業、水産業、林業を県内外の企業の協力を得ながら地域の自治体との共同プロジェクトや県内外の企業との共同研究を実施します。

東紀州教育学舎

東紀州地域を中心に学校教育支援を行います。特に小学校外国語(英語)教育について、教材開発や複式学級に対応した年間指導計画や指導案を作成・提供します。各学校で出前授業や教員研修を実施し、プログラミングやICTを活用した教育の発信や教員の指導力向上を目指します。



東紀州産業振興学舎

東紀州教育学舎



東紀州産業振興学舎(天満荘)



東紀州教育学舎
(三重県立木本高校旧南風寮)

活動紹介



藻場再生事業

東紀州は、豊かな海(黒潮)からの恩恵を受ける、漁業が盛んな地域です。しかし最近では「磯焼け」という海藻が繁茂しなくなる現象により漁獲高が減少しており、漁業者にとって深刻な問題となっています。本学では、自治体と連携し調査研究結果を取りまとめた「三重県版磯焼け対策ガイドライン」に沿って、水産資源や環境を守るため、ウニ類(ガンガゼ)の除去等、藻場の再生プロジェクトを実施しています。

複式学級に対応した小学校外国語(英語)教育

東紀州地域では、多くの小学校が複式学級で授業を行っていますが、複式学級に対応した外国語の指導法が確立されていません。そこで東紀州教育学舎では、2020年に教科化される小学校英語にICTの活用を含めた年間指導計画を作成し、出前授業等の場で実践しています。さらに、他の複式学級を抱える地域でも活用されるよう情報発信を行うとともに普及を目指しています。



教育アプリの開発

東紀州教育学舎で、児童生徒が手軽に画像を撮影し音声付きで短い作品が作れるアプリ「くまた」を設計・実用化したほか、本学大学院工学研究科と協働で、英語の綴りと発音を学べるアプリ「Let'sフォニックス」を開発し学校現場で実践しています。



インバウンド拡大への取り組み

東紀州地域の企業と連携し、本学留学生の視点から見た外国人観光客の誘致における課題について、モニターツアーやヒアリング、エージェントとの交流会などを通して集約し、東紀州の地域性に富む新たな観光商品の開発・提案につなげることを目指しています。



自然環境リテラシー学

生物資源学部の専門科目です。4泊5日の現地合宿型実習を通して、自然環境と人間が相互に与えあふ影響(地域文化を含む)を理解し、自然環境を保護・保全し、情報発信できる広範な知識および技能(=自然環境リテラシー)を習得したリーダーを育成します。



木育プロジェクト

東紀州の子どもたちが、伝統ある林業・木材産業や、豊かな森林について理解し、将来の担い手や良き消費者となることを目的とした、森を守り、木を育て、伐採し、製材・加工し、利用する、実践的な木育・森林環境教育プログラムの開発と実践を行っています。



林業活性化セミナー

本学林学系研究者の最新の知見を紹介し、未来の林業・林産業について考えることを目的に、「木材のサプライチェーンマネジメントシステム」「ICTを活用したスマート林業構想」をテーマとしたセミナーを実施しました。



プログラミング教育の出前授業

2020年から必修化されるプログラミング教育について、スクラッチやスクラッチ・ジュニアを利用して、各教科等でプログラミング教育を実施できるように、小中学校への出前授業や教員研修等の教育支援を行っています。